

## 国民年金前納割引制度(口座振替前納)

保険料をまとめて前払い(前納)すると、割引が適用されるのでお得です。

うっかり忘れて納付期限を過ぎていた、忙しくて金融機関の窓口やコンビニエンスストアで支払う時間がないという方は、便利な口座振替をご利用ください。

### 振替方法は次から選択

- ① 2年前納(4月～翌々年3月分)
- ② 1年前納(4月～翌年3月分)
- ③ 6ヶ月前納  
(4～9月分、10月～翌年3月分)
- ④ 当月末振替(早割)  
※本来の納付期限よりも1ヶ月早く  
口座より振替する方法です。
- ⑤ 翌月末振替  
※保険料の割引はありません。

### 振替方法によって割引額が変わります

令和3年度の割引額は次のとおりですので参考にしてください(令和4年度の保険料額は、令和4年2月下旬に告示される予定です)。

#### 【令和3年度の振替方法別割引額】

振替方法	正規の保険料	1回あたりの納付額	割引額
① 2年前納	398,400円	382,550円	15,850円
② 1年前納	199,320円	195,140円	4,180円
③ 6ヶ月前納	99,660円	98,530円	1,130円
④ 当月末振替	16,610円	16,560円	50円
⑤ 翌月末振替	16,610円	16,610円	なし

## 口座振替前納の申込期限

口座振替での令和4年度分2年前納、1年前納、6ヶ月前納(4月～9月分)の申込期限は、令和4年2月末までです。

すでに口座振替で前納の方は、再度の申込みは不要です。ただし、1年前納から2年前納への変更など、振替方法を変更する場合は、再度申込みが必要です。保険料が一部免除された方は、口座振替の前納制度は利用できませんのでご注意ください。郵送によるお申し込みの場合、郵便物の到着までに日数がかかりますので、早めの投函をお願いします。

## 口座振替に加え、現金・クレジットカード納付による2年前納が可能です

前納の各手続方法は以下のとおりです。なお、口座振替による割引額と現金・クレジットカード納付による割引額には差がありますのでご注意ください。

### (1) 口座振替の場合

「国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書」に必要事項を記入の上、預貯金口座をお持ちの金融機関(ゆうちょ銀行を含む)の窓口、または年金事務所(郵送も可)へご提出ください。お申し込み期限は、毎年2月末です。

※口座振替のお申し込みには、基礎年金番号の記入が必要ですので、年金手帳や納付書で基礎年金番号をご確認ください。また、金融機関届出印の押印が必要となります。

### (2) クレジットカードの場合

「国民年金保険料クレジットカード納付(変更)申出書」に必要事項を記入の上、年金事務所(郵送も可)へご提出ください。お申し込み期限は、毎年2月末です。

### (3) 現金の場合

現金による2年前納をご希望される旨を年金事務所にお申し出ください。申出書をお送りします。お申し出後は、4月以降に納付書を発送します。



全国的に「ひきこもり」は社会問題として注目されています。この富良野地域でも例外ではありませんが、実際に関係機関に寄せられる相談は決して多くはありません。悩んでいても相談できないご本人や家族がいるのかもしれない。

富良野地域に暮らす私たちが「ひきこもり」について悩むご本人やご家族に寄り添い、サポートするために何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

今回の講演会は「ひきこもり」に関わる支援関係者向けに構成されていますが、ご本人やご家族の参加も可能です。地域の皆さまのご参加をお待ちしています。

**開催日**  
令和4年3月5日(土)  
13時30分～15時30分

**開催場所**  
富良野市地域福祉センター  
「いちい」集会所  
富良野市住吉町1番28号

**参加対象**  
一般の方・学校等教育関係者・民生委員・ボランティア・関係事業者・精神保健に関わる関係者の方 など

**定員**  
40人

**申込み切**  
令和4年2月25日(金)

**申込先**  
北海道富良野保健所健康推進課(富良野地方精神保健協会事務局)  
☎0167(23)3161  
FAX0167(23)3163

**その他**  
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数の定員を40人とします。定員を超える場合は調整させていただきます。  
・新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止となる場合があります。その際は申し込みされた方に個別に連絡させていただきます。

## 「ひきこもりの理解と支援～私たちができること～」 講師 ころのりカバリー総合支援センター 理事長・所長 阿部 幸弘さん

〈講師紹介〉  
北海道大学医学部卒、道内の医療機関に勤務後、1997年北海道立精神保健福祉センター1部長、2005年よりころのりカバリーセンター1部長、所長を経て2011年より理事長を兼任。  
精神科医として、入院中心の医療から外来精神療法、地域保健へと経験を拡大し、現在は独立型デイケア施設に勤務。ここでは、精神科リハビリテーションを心の病の方のみならず、交通事故等で高次脳機能障害になられた方々にも応用、治療の手応えを得ている。

また、「社会的ひきこもり」の相談事業を北海道および札幌市から引き受け、最近は大人数になってから明らかとなった発達障害の方々の相談・リハビリも行っている。

